

紙工作の体験をしました。

ならはらっ子クラブでは、紙工作の体験活動を行いました。体験活動前は、いつも通りに学習をし、そのあと紙工作の体験をしました。子供達は、画用紙や色紙を使った飾りを作ったり、ダンボールを使って恐竜づくりをしたりしました。子供達は、楽しみながら思い思いの作品を作っていました。

紙工作の体験以外に、カボチャの重さあてのコーナーなどが設置してあり、子供達が実際にカボチャを手にとって重さあてに挑戦する姿も見られました（迎えにきた保護者の方も挑戦しているというお話を聞きました）。

また、子供達の帰る時刻ごとに分けられた棚が準備してあり、そこにファイルを入れることによって、指導者が帰る時刻を一目で把握できる工夫がされていました。



【紙工作体験前の学習の時間】



【紙工作の体験】



【恐竜づくり】



【カボチャの重さあて投票箱】



【カボチャの重さあて】



【子供の帰る時刻が分かる工夫】

指導員の方のお話から

- 通常の活動について
 - 通常の活動については、子供達は学習の時間を経て、体験活動に移るというのを理解しているので、動きがスムーズになっています。
 - 子供達は、紙工作や自由遊びなどで楽しみながら活動しています。また、カボチャの重さあてなど、子ども達が興味を持ちそうなものを考えて実施し、子供達の喜ぶ顔を見ると、とても嬉しく感じます。
- 家庭との連携について
 - おうちの人を迎えにきた際に、その日の出来事や注意したことなどがあればお伝えするようにしています。

楽しい体験活動や教室掲示の工夫、子ども達の笑顔をたくさん見せていただきました。当日は活動を見せていただきありがとうございました。